

2026 CQ World-Wide RTTY DX コンテスト

開始: 9 月 26 日 土曜日 00:00:00 UTC

終了: 9 月 27 日 日曜日 23:59:59 UTC

I. 目的: 全世界のアマチュア局ができるだけ多くの CQ ゾーン、カントリー、および W/VE の QTH にいる他のアマチュア局とコンタクトすること。

II. バンド: 5 バンドのみ: 3.5, 7, 14, 21 および 28 MHz。確立されたバンドプランの遵守が強く推奨される。

III. ナンバー交換: RST レポート+局の所在地のゾーン番号 (例: 599 05)。米国本土およびカナダの局は、QTH も併せて送信する (例: 599 05 MA)。以下の IV. C. 3. を参照のこと。

IV. 得点計算:

A. 得点: 最終得点は、QSO 得点の合計に、ゾーン、カントリー、QTH のマルチプライヤーの合計を乗じて算出される。例: $1000 \text{ QSO 得点} \times (30 \text{ ゾーン} + 70 \text{ カントリー} + 35 \text{ W/VE QTH}) = 135,000$ (最終得点)。

B. QSO 得点: 同一局との交信は、1 バンド 1 回のみ得点として計上できる。QSO 得点は交信した局の所在地に基づいて算出される。

1. 異なる大陸の局との交信は、3 点。
2. 同一大陸内の異なるカントリー局との交信は、2 点。
3. 同一カントリー局との交信は、1 点。

C. マルチプライヤー: 3 種類のマルチプライヤーがある。

1. ゾーン: 各バンドで交信した異なる CQ ゾーン毎に 1 つのマルチプライヤーが加算される。CQ Worked All Zones のルールを基準とする。
2. カントリー: 各バンドで交信した異なるカントリー毎に 1 つのマルチプライヤーが加算される。カントリー毎の乗数を定義する基準として、DXCC エンティティリスト、「Worked All Europe (WAE)」のマルチプライヤーリスト (IG9/IH9 を含む)、および大陸の境界を使用する。海上移動局は、ゾーンマルチプライヤーのみにカウントされる。
3. W/VE QTH: 各バンドで交信した米国本土 48 州、コロンビア特別区、およびカナダの各コールエリア (14) 毎に、マルチプライヤー 1 つが加算される。米国の州の表示は、U. S. Postal Service の略称のみを使用すること (例: ミシガン州=MI、マサチューセッツ州=MA、オハイオ州=OH、コロンビア特別区=DC)。注: アラスカ (KL7) およびハワイ (KH6) は、州のマルチプライヤーとしてはカウントされず、カントリーのマルチプライヤーとしてのみカウントされる。カナダのコールエリア (計 14) は以下のとおり: NB (VE9)、NS (VE1)、QC (VE2)、ON (VE3)、MB (VE4)、SK (VE5)、AB (VE6)、BC (VE7)、NWT (VE8)、NF (V01)、LB (V02)、NU (VY0)、YT (VY1)、PEI (VY2)。

V. 参加部門:

A. シングルオペレーター部門: 一人(1オペレーター)ですべての運用とロギングを行うこと。運用時間およびバンドの切り換えに制限はない。いかなる瞬間においても送信は1波のみ。

1. シングルオペレーター: いかなる形態の QSO 発見アシスタンスも禁止される(VIII.2を参照)。

a. ハイパワー (オールバンドまたはシングルバンド): 合計出力が1500ワットを超えないこと。

b. ローパワー (オールバンドまたはシングルバンド): 合計出力が100ワットを超えないこと。

c. QRP (オールバンドまたはシングルバンド): 合計出力が5ワットを超えないこと。

2. シングルオペレーターアシステッド: この部門の参加者は QSO 発見アシスタンスを利用できる(VIII.2を参照)。

a. ハイパワーアシステッド (オールバンドまたはシングルバンド): 合計出力が1500ワットを超えないこと。

b. ローパワーアシステッド (オールバンドまたはシングルバンド): 合計出力が100ワットを超えないこと。

c. QRP アシステッド (オールバンドまたはシングルバンド): 合計出力が5ワットを超えないこと。

B. シングルオペレーター・オーバーレイ部門: 要件を満たすシングルオペレーターの参加者は、CATEGORY-OVERLAY 行をキャブリロ・ログ・ファイルのヘッダーに追記することにより、以下の部門うちの1つに参加することができる。オーバーレイ部門は、結果発表において、ハイパワーとローパワー(QRPを含む)にグループ分けされたオールバンドのスコアが、別に掲載される。

1. クラシックオペレーター(CLASSIC): 参加者は1台の無線機のみを使用し、QSO 発見アシスタンスは禁止され、48時間のうち24時間まで運用することができる - 休息は最低 60 分間、QSO が記録されない時間。ログに24時間以上の運用時間が表示されている場合、最初の24時間だけがオーバーレイのスコアにカウントされる。送信中の受信は禁止されている。シングル・オペレーター・アシスト部門の参加者は、この部門に参加できない。

2. ルーキー (ROOKIE): この部門の参加者は、コンテスト開催日において、アマチュア無線の免許を最初に受けてから3年以内であること。オペレーターが最初に免許を受けた日付をログの SOAPBOX 欄に記載すること。過去のルーキー部門の勝者は当部門の楯の受賞資格が無い。

3. ユース (YOUTH): コンテスト開始時点でオペレーターが25歳以下であること。

SOAPBOX 欄に生年月日を記載すること。

C. マルチオペレーター部門 (オールバンド運用のみ) : オペレーターの人数に制限はない。QS0 発見アシスタンスの使用が認められる。いかなる瞬間においても、各バンドにつき 1 波のみの送信が許される。

1. マルチ-シングル : いかなる瞬間においても、1 つのバンドで 1 波のみの送信が許される (ラン・ステーション/信号)。 例外 : ランの送信とは異なるバンドであり、かつ交信した局が新規のマルチプライヤーである場合に限り、他の信号 (マルチプライヤー・ステーション/信号) を 1 波のみ送信することができる。ランおよびマルチプライヤーの送信機は、毎時 (00 分から 59 分) 最大 8 回までバンド変更を行うことができる。 ログには、各 QS0 をどの送信機 (ランまたはマルチプライヤー) で行ったかを明記しなければならない。 マルチプライヤーの送信信号では、CQ (交信の呼びかけ) を行ってはならない。

a. ハイパワー : 合計出力は、どのバンド上のいかなる瞬間においても 1500 ワットを超えないこと。

b. ローパワー : 合計出力は、どのバンド上のいかなる瞬間においても 100 ワットを超えないこと。

2. 2 T X (Multi-Two) : バンドが異なれば、いつでも最大で 2 波までの送信が許される。 ログにどちらの送信機で QS0 したかを明記すること。 それぞれの送信機は、毎時 (00~59 分) 8 回までバンドを変更できる。 合計出力は、どのバンド上のいかなる瞬間においても 1500 ワットを超えないこと。

3. マルチ T X (Multi-Multi) : 5 つのコンテスト・バンドで同時に運用できる。 どのバンドにおいても、同時に送信できる信号は 1 波に限られる。 合計出力は、どのバンド上のいかなる瞬間においても 1500 ワットを超えないこと。

4. マルチ-分散ロケーション (Multi-Distributed) : 異なる場所にある局から、一度に最大 5 波 (1 バンドにつき 1 波) を送信することができる。すべての機器 (送信機、受信機、アンプ、アンテナなど) は、遠隔操作される機器を含め、同一の DXCC エンティティおよび CQ ゾーン内に設置されていなければならない。 5 つのバンドを同時に運用することができる。 各送信信号の合計出力は 1500 ワットを超えてはならない。キャブリーログのヘッダーには、以下の行を含めること : CATEGORY-OPERATOR: MULTI-OP、CATEGORY-STATION: DISTRIBUTED。規則 IX.5 および IX.6 は、この部門には適用されない。

D. チェックログ : ログのチェックを支援するために提出される。 得点は結果に反映されず、ログが公開されることはない。

VI. アワード

シングルバンドのログはシングルバンドのアワードのみ対象となる。 1 つ以上のバンドを含むログは、シングルバンドエントリーとして指定されなかった場合、オールバン

ドのエントリーと判断される。

A. 賞状: ログの締め切りまでにエントリーしたすべての局は電子的な賞状がダウンロードできる。

B. 楯: 楯はいくつかの対象部門の、最高の成績に対して与えられる。楯の対象部門とスポンサーのリストは cqwwrtty.com/plaques.htm を参照のこと。参加 1 局に対し 1 つの楯のみ受賞対象となる。楯の受賞者はサブ部門のアワード対象とはならない。楯はその部門の次点者に与えられる。

VII. クラブ対抗:

メンバーから提出された得点の合計がクラブの得点となる。クラブ対抗には、二つの部門がある。

A. USA クラブ: 参加は、クラブの区域の中心から半径 250 マイルの円内に居住し運用するクラブ・メンバーに限られる。

B. DX クラブ: 参加は、DXCC カントリーに存在するクラブのメンバーでありクラブの所在地に居住するか、またはクラブの区域の中心から半径 400 キロメートルの円内に居住し運用するそのクラブ・メンバーのいずれかに限られる。

C. クラブ対抗の一般ルール

1. 全国組織（例：JARL、REF、DARC）は、クラブ対抗には参加できない。
2. シングルオペレーター部門の参加者は、一つのクラブにのみ得点を計上できる。マルチオペレーターのスコアは、ログに示されたクラブ・メンバー数の比率で複数のクラブに分配できる。ログには、クラブのフルネームを（かつ、マルチ OP の場合はクラブへの配分も）記載すること。
3. 結果発表に掲載されるためには、最低 4 局からログが提出されていること。チェックログはクラブの得点に計上されない。
4. 「居住」という単語は次のように定義される： 永続的あるいは連続的に住むこと、または法的な目的のために個人が定め、永続的かつ主要な家庭としての場所を占有すること。
5. 資格のあるクラブ・メンバーは、DXpedition のスコアを所属団体のクラブエントリー に計上することができる。

VIII. 用語の定義:

1. **運用場所:** すべての送信機、受信機およびアンテナが配置されているエリア。すべての送信機、受信機、アンテナは直径 500 メートルの円内に収まっていること。すべてのアンテナは、送信機と受信機に物理的に RF 伝送用ケーブルで接続されていること。
2. **QSO 発見アシスタンス:** シングルチャンネル RTTY デコーダー以外の、信号のコールサインやマルチプ라이어をオペレーターに識別させる技術やその他の情報源の利用。これには、マルチチャンネル RTTY デコーダー、DX クラスター、DX ス

ポットティングウェブサイト（例：DX Summit）、ローカルまたはリモートのコールサインおよび周波数デコード技術（例：RTTY Skimmer や Reverse Beacon Network）、あるいは他の個人を介しての運用アレンジが含まれるが、これらに限らない。

IX. すべての参加者に適用されるルール：

1. すべての参加者は、最終スコアに影響を与える全ての活動をそれぞれが選んだ部門に定められた範囲内で運用しなければならない。
2. 複数の部門への参加は、別々のコールサインを使用すること。スコア増加には参加局のコールサインのみが使用できる。
3. いかなるバンドにおいても選択した部門に定められた合計出力制限を越えてはならない。当該バンドの合計出力は、動作しているアンプの出力端で測定する。
4. セルフスポットまたはスポットを他局に依頼することは禁止。
5. 遠隔操作による運用は、すべての送信機、受信機およびアンテナの、物理的な位置が1カ所である場合にのみ許される。遠隔操作局は局免許、従事者免許および参加部門の制限を遵守すること。使用するコールサインは、局所在地の監督当局によって発行されるか、許可されたものでなければならない。
6. 運用場所の外部におけるリモート受信は禁止。
7. 1つのバンドにおいて、同時に送信できる信号は1波に限られる。同一バンドに2台以上の送信機が存在する場合、同時に複数の信号が送信されないように、ハードウェアで措置すること。同一バンドで2つ以上の周波数で交互に CQ を出すことは禁止。
8. 交信の要求、呼び出しに対する応答、コールサインの記録およびナンバー交換は、すべてコンテストで定められたモードおよび周波数を使用して、コンテストの期間中に行われたものであること。
9. データ・ベース、録音、電子メールあるいは他の方法を使用して、コールサインやナンバー交換などログの事後修正を行うことは禁止。
10. 45.45 ボー、170Hz シフトの ITA2 モードのみが使用できる。
11. 以下の操作は、常に人間のオペレーターが自ら行わなければならない： 1) 受信または送信周波数の変更、2) QSO 相手の呼び出し、3) QSO の記録。これらの操作を模倣する自律型システムやロボットの使用は禁止。

X. ログ提出方法：

電子的な手段による提出が、すべての参加者に求められる。

1. ログはそれぞれの交信について、以下の項目を必ず記載すること： UTC による正確な日付と時刻、周波数（またはバンド）、交信した局のコールサイン、送信したナンバー、受信したナンバー。これらの記載がないログは [チェックログ] 扱いとなる。交信完了後ただちに記録されていること。ワールドと大陸のアワード

を目指す局は、正確な周波数をログに記載しなければならない。

2. シングルバンド参加者は、コンテスト期間中の(他バンドを含む)すべてのコンタクトを記載すること。 キャブリロ・ヘッダーまたはサマリー上に明記された参加バンドのコンタクトのみが得点計算に用いられる。 一つのバンドのみのコンタクトが記載されたログは、シングルバンド部門での参加と見なされる。
3. キャブリロ形式がログの標準形式である。 キャブリロ・ヘッダーの詳細に関しては、<cqwwrtty.com/cabrillo.htm>を参照のこと。 ヘッダーを正しく記入しない場合、そのエントリーが誤ったカテゴリーに分類されたり、チェックログとして再分類されたりする可能性がある。 注：米国およびカナダの局は、キャブリロ・ヘッダーに局の所在地を明記する必要がある(例：LOCATION: OH)。 その他の局は「DX」と記載する(例：LOCATION: DX)。
4. ウェブ・アップロードによるログの提出が推奨される。 ウェブ・アップロードは<cqwwrtty.com/logcheck/>で利用できる。
5. キャブリロ形式以外の電子ログを提出するには： キャブリロ形式のログが提出できない場合は、コンテストディレクターに他の形式での提出について相談のこと。
6. 受付確認： 受け取ったすべてのログは、電子メールで受領確認される。 受け付けられたログのリストは<cqwwrtty.com/logs_received.htm>で見ることができる。
7. ログの撤回： 参加者は、ログ締め切りから 30 日以内であれば、理由を問わず、提出したログを撤回できる。 方法についてはコンテストディレクターに連絡のこと。

XI. ログの締め切り：

1. すべてのログは、コンテスト終了後 48 時間以内に送信すること。 2026 年 9 月 29 日 23 時 59 分 (UTC) 必着。 締め切り後に再提出されたログは、締め切り後の提出と見なされる。
2. 締め切りの延長は<cqwwrtty.com/contact>へ申請する。 延長申請には正当な理由が示され、かつ、ログの締め切り日前に受領されていなければならない。 ログ締め切り延長はコンテストディレクターの確認をもって認められる。
3. 締め切り後に提出されたログは、結果に掲載されるが、アワードの対象とならない。

XII. 判定：

CQ WW RTTY DX コンテストコミッティは、コンテストへのエントリー内容の確認および審査についての責任を有する。 参加者にはルールの遵守と最良のアマチュア無線運用が期待される。 コンテストルールの違反やスポーツマンらしくない行為に対してはコミッティの制裁措置がとられる。

A. スポーツマンらしくない行為：以下に挙げる行為が該当するが、これらに限らない：

1. コンテスト中または終了後に、電話、インターネット、インスタントメッセージ、チャットルーム、IP 電話、電子メール、ソーシャルメディア、ウェブサイトなど、アマチュア無線以外の手段を用いて、QSO をアレンジしたり確認したりする行為。
2. 免許の範囲を超える周波数による送信。
3. バンド変更やオフタイムなどのルールに合わせるため、ログの時刻を修正する行為。
4. 過度の確認できない QSO や検証不可能なマルチプライヤーを申告すること。
5. 帯域幅が過度に広い信号（例：スプラッター、クリック音）や、他のバンドへの高調波。
6. コールサインを送信せずに 3 回以上連続して交信を行うランニング局。

B. 音声録音：(a) ワールド、(b) 大陸、(c) USA で、クラシック・オーバーレイを含めて、上位 5 位を目指すシングルオペレーターの参加者 (V. A. 1 参照) は、コンテスト運用期間中、オペレーターが実際に聴いた送信および受信の音声を録音しなければならない。録音は一般的な形式（例：mp3）で行い、左右の耳への音声を別々のチャンネルとして含めること。録音は連続したものでなければならない（個々の QSO の録音であってはならない）。「オフエア」（送信または受信を行っていない時間）は録音する必要はない。ログの審査を補助するため、コミッティはログ提出期限から 90 日以内に録音の提出を要請する場合がある。録音ファイルは、請求から 5 日以内に提出しなければならない。**要求された音声録音の提出がない場合、ログエントリーの再分類または失格となる可能性がある。**

C. 運用局設備情報：参加者はコンテストコミッティより要請があった場合に以下の設備情報を提出することに同意する。

1. 運用局設備、アンテナ、アンプリファイヤー、スイッチ、インターロックなどの詳細および写真

D. ルール違反に対する処置：違反があった場合は、コミッティの裁量で参加者は失格となることがある。

1. 失格局のコールはコンテスト結果の最後に記載され、アワードの対象外となる。
2. コミッティの決定はログ提出時に提供された電子メールアドレスに通知される。通知を受けた参加者はコンテストディレクターに対して通知を受けてから 5 日間、コミッティの決定に対して不服申し立てを行うことができる。その期間終了後に決定は最終となる。
3. コミッティはログの審査その他の情報に基づいて、参加部門を変更する権利を留保する。

E. ログ審査：提出されたログはカスタム・ソフトウェアと人間の判断により審査され

る。

1. 重複交信は除外されるがペナルティは課せられない。
2. ナンバーを間違えて受信した場合、交信は除外されるがペナルティは課せられない。
3. コールサインの間違 (bust)、または相手方のログに該当する交信が見当たらない交信 (NIL) は、得点計算から除外され、その QSO 得点の 2 倍にあたるペナルティが課される。

XIII. 宣誓:

CQ WW RTTY DX コンテストにログを提出することによって、また、CQ WW RTTY DX コンテストコミッティのログ審査にかかる努力を考慮して、参加者は以下の各項に取り消し不能かつ無条件に同意する。: 参加者たる彼/彼女は 1) コンテストの規則を読み、そして理解し、それらの規則によって規制されること。 2) 運用地のアマチュア無線に関するすべてのルール、法律に従って運用したこと。 3) ログは一般に公開される可能性があることに同意した。 4) コンテストコミッティの失格その他の決定はオフィシャルかつ最終的なものであることを受け入れること。もし、上記のすべてに同意できない場合はエントリーしてはならない。あるいは、単にチェックログとしてエントリーするべきである。

CQ WW RTTY DX コンテストのルールに関する質問は、cqwwrtty.com/contact.htm > まで問い合わせのこと。よくある質問と答え (FAQ)、cqwwrtty.com/rules_faq.htm > を参照のこと。

この翻訳は JA コンテスト向けに利便性を提供する目的で Mako, JA1XS と Hisami, 7L4IOU により作成されています。

オリジナルの英語版があくまでも公式なものです。